

第4系統豚「クロサツマ2015」と他の系統豚との組合せは良好な産肉・繁殖成績

第4系統豚「クロサツマ2015」(B4)は、第2系統豚(B2)、第3系統豚(B3)のどちらと組合せても安定した産肉・繁殖成績

背景・目的

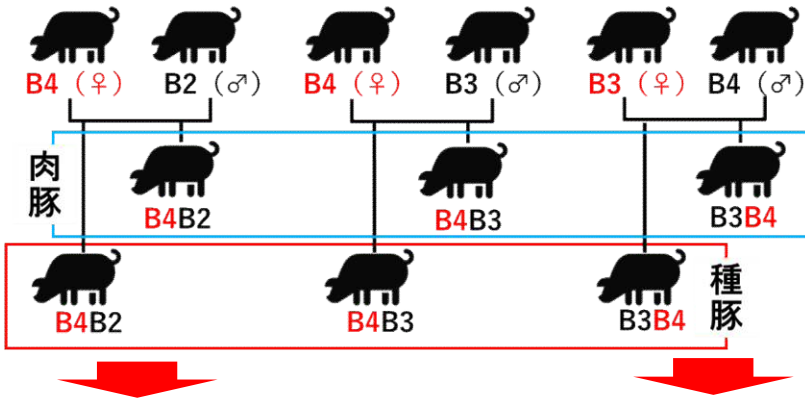
- 本県では黒豚系統豚を造成し、「かごしま黒豚」の生産性向上に寄与
- H27年度に第1系統豚に代わる第4系統豚「クロサツマ2015」が完成
- 農家が利用するにあたり、第4系統豚と既存の系統豚を組合せた時の能力把握が必要

成果の内容

クロス豚について産肉能力、繁殖能力をそれぞれ調査

※ B2: 第2系統豚「ニューサツマ」、B3: 第3系統豚「サツマ2001」、B4: 第4系統豚「クロサツマ2015」

※ 産肉能力、繁殖能力ともに統計的な有意差は無し



肉豚の産肉能力

- ・1日増体量 : 563~583g/d
- ・ロース断面積 : 32~34cm²
- ・背脂肪の厚さ : 2.2~2.5cm

雌の繁殖能力

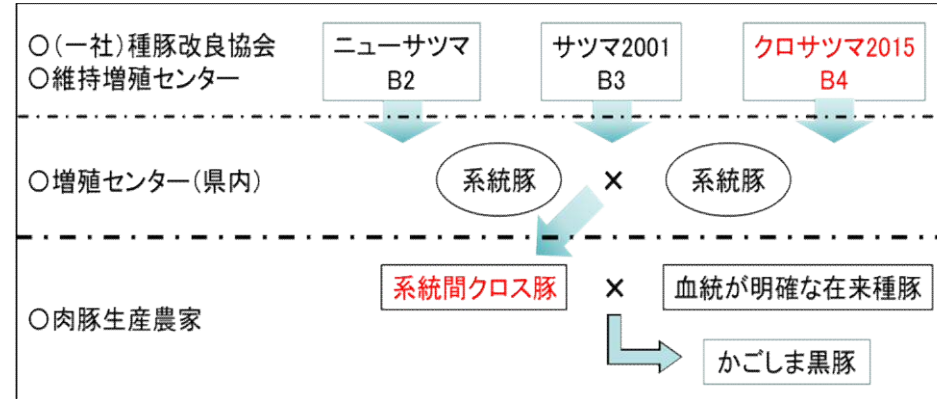
- ・総産子数 : 7.1~8.2頭
- ・離乳頭数 : 6.1~6.4頭
- ・離乳時総体重 : 44~56kg

雄の繁殖能力

- ・総産子数 : 7.5~7.6頭
- ・離乳頭数 : 6.1~6.8頭
- ・離乳時総体重 : 50~52kg

● 農家での利用形態 : クロス豚

※クロス豚:異なる2つの系統豚を交配して得られた豚



第4系統豚と既存の系統豚を交配した3種類のクロス豚を農家が利用することで、斉一性のある肉豚を生産可能



第4系統豚「クロサツマ2015」

導入メリット

3種類のB4クロス豚(B4B2, B4B3, B3B4)の産肉・繁殖能力は同等の成績

期待される効果

3種類のB4クロス豚を利用することによる黒豚生産農家の経営安定
鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場中小家畜部養豚研究室

普及対象・範囲 県内黒豚生産農家